

人にやさしいまちづくりの推進

「人にやさしいまち」とは、高齢者や障害者等が、自由に行動し、働く・学ぶ・遊ぶ・買物など、安心して日常生活を送ることができるまちである。そのためには、道路・公園・商店街・建築物・交通機関等に福祉的配慮がなされているとともに、困っている人に、周りの人びとが声をかけ、手をさしのべるやさしい心づかいが求められる。

区では、従来から道路や公園、建築物等の段差解消を図るとともに、新馬場駅周辺や中延複合施設周辺などについて重点的な環境整備を行ってきた。また、再開発事業に合わせた建築物等の福祉的整備の誘導や、鉄道事業者に働きかけて駅舎へのエレベーター等の整備を図るなど、人にやさしいまちづくりを進めてきた（平成14年12月のりんかい線全線開通にともなう大井町駅・大崎駅等）。

今後はこれらの環境整備を進めていくとともに、人にやさしいまちづくりへの意識の啓発・普及に力を入れていく。

● 基本的な考え方 ●

1. 「品川区高齢者や障害者にやさしいまちづくり推進計画」に基づき、区民・事業者・行政がそれぞれの役割を理解し、協働してやさしいまちづくりを推進する。
2. 道路・公園、公共建築物等のバリアフリー化を推進するとともに、身近な交通機関である鉄道やバスを支障なく利用できるようエレベーター等の整備やノンステップバスの導入等を誘導する。
3. 多数の区民が利用する商業施設や医療施設・金融機関等の民間建築物について事業主の協力を得て福祉的整備を誘導する。